

平成26年度
事業報告書

学校法人明照学園

目 次

I 法人の概要

- 1 法人名称等
- 2 建学の目的・精神・教育方針
- 3 校名「樹徳」の由来
- 4 学校の沿革
- 5 設置する学校・学科等
- 6 学校・学科等の生徒数の状況
- 7 役員及び評議員の概要
- 8 教職員の概要

II 平成26年度事業報告（主要事項）

- 1 法人（昭和26年3月8日認可）
- 2 高等学校（昭和23年8月6日認可）
- 3 中学校（平成13年3月29日認可）
- 4 幼稚園（昭和28年6月6日認可）

III 財務の概要

- 1 決算の概要
 - (1) 資金収支計算書の状況
 - (2) 消費収支計算書の状況
 - (3) 貸借対照表の状況
- 2 財務分析経年比較

I 法人の概要

1 法人の名称等

- ・ 法人名称 学校法人 明照学園
- ・ 理事長名 野口 秀樹
- ・ 所在地 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号

2 建学の目的・精神・教育方針

明照学園は、教育基本法第1条の目的「教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国の育成を期して行われなければならない。」を踏まえ、仏教精神（宗教的情操）に基づき、日本国民である自覚と誇りを堅持し、国家・社会ひいては国際社会に奉仕し得る人間の育成を目的とする。

即ち、高い学問(知性)・技術の修得と、深い智慧と慈悲(徳性)、健康で強靱な体力精神力との調和ある人間育成に努めることを目的に設立された。

この為に、教職員は夫々の専門分野のたゆまぬ研鑽と、自らの人格陶冶（仏道精神）に努めなければならない

- ① 仏教精神（宗教的情操）に基づく全人教育＝手を合わせる
（智慧と慈悲との調和による、感謝のできる人間教育）
- ② 制服の三条の白線が意味するもの（篤敬三宝）
明るく （仏・・・智慧）
正しく （法・・・道徳）
睦まじく （僧・・・共生）
- ③ 校名に託された教育の心
明照学園・・・智慧の完成＝無明に光を（違いを知り・同じを知る）
明照大師（法然上人の大師号）
樹徳・・・慈悲の完成
徳を樹つるは滋きを務め、悪を除くは本を務む
- ④ 校是・・・夢は大きく 根は深く（大樹深根・良樹細根）
- ⑤ 学習・・・器に応じた授業
- ⑥ 生活指導の精神＝どのような生徒を育てたいか
自分を大切にする生徒・・・感謝
自分以外の人を大切にする生徒・・・思いやり
社会に役立つ有用な生徒・・・報恩

3 校名「樹徳」の由来

樹徳とは、徳を樹えることで、徳を身に樹てることである。わが身に徳を積みおさめることで、積善し悪を除いて成人することの意である。古くは、もと書経泰誓篇にある言葉である。

樹徳務滋除悪務本・・・徳を樹つるは滋きを務め、悪を除くは本を務む・・・と読む。

恩徳を人にしくのは、少し余計がよい。悪を除くには、根もとから除くがよい。除かなければ後の害をなすということである。

近くは、教育勅語の中に樹徳深厚・・・徳を樹つることは深厚なりとある。

大正3年、創立に際して学校に命名したのは、山田郡長の直井三郎氏で、今日の樹徳高等学校の隆昌を予見された、輝かしい余徳に深甚の感謝を捧げるものである。

明照学園の明照は、明治天皇から法然上人に賜った明照大師号によるもので、因みに上人は、50年毎（6度にわたり）大師号下賜の栄に浴しておられる。

本校は、浄土門宗の学校で、校名としては明照の智による高い良識と質実剛健の行を一体とした伝統の中、たくましく日々怠らない厳然たる私学である。

4 学校の沿革

(年度)

大正 3年	4月 裁縫女学校として桐生新町(現在の本町5丁目)に創立、 同年9月に本町6丁目に移転
大正 4年	4月 裁縫女学校第1回卒業式挙行
大正13年	樹徳裁縫女学校の設置科を群馬県に提出 本科(2年)、速成科(1年)、専攻科(6か月)、別科(年限を定めず)の4科 に洋服科(1年)、随意科(年限を定めず)を新設
昭和 2年	桐生市大字新宿稻荷塚1002番地(現在の錦町1丁目1番20号)に移転
昭和16年	財団法人樹徳高等裁縫女学校となる。
昭和21年	樹徳高等女学校と改称、女子部校歌制定
昭和22年	カスリーン台風新川大水害被災、校舎流失
昭和25年	樹徳高等学校・同中学校と改称、別科2課程を併設 初代校長 野口周善先生遷化、2代校長 野口健策先生就任
昭和26年	学校法人明照学園樹徳高等学校と改称し、附属幼稚園を併設 同窓会発足 初代会長に半田大子氏就任
昭和28年	後援会発足 初代会長に星野亀三郎氏就任
昭和30年	講堂落成、奨学金給費制度発足
昭和32年	中学校廃止
昭和34年	「明照の鐘」設置
昭和35年	男子部普通科、商業科の2課程を設置、男子部校歌制定
昭和37年	女子部商業科設置 「樹妙だより」第1回発行
昭和38年	男子部第1回卒業式挙行 「樹妙」初版発行
昭和39年	相生総合グラウンド設置
昭和41年	初代校長顕彰碑建立
昭和42年	梅田町字高沢に大滝山荘を設置
昭和46年	浄土宗総本山知恩院、第1回全教職員練成宿泊実施
昭和47年	女子部普通科設置

公式野球部後援会発足 初代会長に堀越至一郎氏就任

昭和48年 男子部情報処理科新設
 広沢町に野球場新設(現在の古庭の入球場)
 第1回中学生柔道・卓球大会(招待試合) 举行(現在の月影杯)

昭和52年 2代校長 野口健策先生 群馬県功労者表彰受賞
 特別進学コースとしてKクラス発足

昭和53年 2代校長 野口健策先生 藍綬褒章受章

昭和54年 2代校長 野口健策先生遷化、第3代校長 星野幸一先生就任
 明照学園樹徳高等学校服務規定制定
 力誉健策校長顕彰記念樹徳高等学校技能優秀者表彰規定制定

昭和55年 樹の根の会(後援会OB会) 発足 初代会長に小島一男氏就任

昭和56年 幼稚園 広沢町古庭の入に移転
 奨学生制度制定

昭和57年 力誉健策校長顕彰記念館新築
 浄運寺28世住職樹徳高等学校創立者野口周善先生顕彰奨学生制度規定制定
 「緑蔭讃歌」(星野幸一先生作詞) 作成
 「やわらぎ」(生徒生活日誌) 作成・使用開始
 「樹幹だより」(学校後援会新聞) 第1号発行

昭和58年 文化祭(樹徳慈善バザー) を月影祭と名称変更
 あかぎ国体を記念し、市街地清掃奉仕活動開始

昭和59年 第1回緑蔭祭(歴代校長、職員、生徒関係、カスリン台風新川大水害被災
 物故者慰霊祭) 举行

昭和60年 第1回生徒海外研修(ホームステイ) 実施

昭和61年 正道館建築
 樹輪会(協力店会) 発足 初代会長に白砂一男氏就任
 学校関係諸団体の呼称統一: 樹妙会(同窓会)、樹幹会(学校後援会)
 樹根会(後援会OB会)、樹球会(野球部後援会)、樹輪会(関係事業所の会)

昭和62年 K1を文系、K2を理系コースとして充実
 第1回校内合唱コンクール実施

昭和63年 セミナーセンター設置

平成元年 渡良瀬川河川敷グラウンド設置
 女子情報処理コース新設

平成2年 女子情報処理科設置

平成3年 公式野球部全国高等学校野球選手権大会(甲子園) 出場
 進学コースとしてSクラス設置

平成4年 3代校長 星野幸一先生群馬県私立中学高等学校協会第6代会長に就任
 3代校長 星野幸一先生群馬県総合表彰受賞
 公式野球部全国高等学校野球選手権大会(甲子園) 2年連続出場

平成6年 芸術作品鑑賞室「美の部屋」完成

平成7年 梅田町大滝山荘に研修館完成

- 平成 8年 3代校長 星野幸一先生 群馬県功労者表彰受賞
男子部情報商業科、女子部情報商業科を新設
- 平成 9年 3代校長 星野幸一先生 私学教育振興功労者文部大臣表彰受賞
- 平成10年 普通科総合コースをJ組と改称
- 平成12年 学校週5日制を実施、土曜講座開設
- 平成13年 樹徳中学校を開設、稲荷町4番12号に中学校校舎建築
中高一貫教育を開始、初代校長 野口秀樹先生就任
相生総合グラウンド(第2)設置
- 平成14年 相撲部群馬県総合体育大会20回優勝による「特別優秀学校」受賞
卓球部群馬県総合体育大会10年連続優勝による「優秀学校」受賞
- 平成15年 家庭科・情報商業科を2年次からのコース制に移行、普通科のみの募集となる。
ラグビー部全国高等学校ラグビーフットボール大会(花園)出場
- 平成16年 中高一貫高等部校舎建築
3代校長 星野幸一先生 瑞宝小授章受章
3代校長 星野幸一先生 群馬県私学振興会理事長に就任
- 平成17年 家庭科・情報処理科廃止
- 平成18年 普通科SK(スーパーケイ)コース設置
- 平成20年 SKコースをSS(スーパーサイエンス)コースに改称
- 平成24年 中学校長 野口秀樹先生 群馬県私立中学高等学校協会会長に就任
理事長 野口秀樹先生藍綬褒章受章
- 平成25年 3代校長 星野幸一先生退任、4代校長 野口秀樹先生就任
学校創立100周年記念事業 新校舎建設委員会、記念誌作成委員会設置
力誉記念館、正道館改修工事实施
- 平成26年 高等学校入学定員を460名に変更
女子制服リニューアル
新校舎立志館竣工
ミャンマーにマイत्री基金による学校建設・開校
新生樹徳ロゴマーク制定、マスコットキャラクターを”ピッパ”と命名
学園・学校応援歌、吹奏楽曲「あかしやの樹」作成
- 平成27年 明照体育館、渡り廊下棟竣工
100周年記念誌編集・作成
5月23日 学校創立100周年記念式典挙行

5 設置する学校・学科等

設置する学校	開校年月	学科等	所在地
樹徳高等学校 校長：野口秀樹	大正3年4月 S23. 8. 6 認可	全日制 (普通科)	〒376-0023 桐生市錦町一丁目1-20
樹徳中学校 校長：野口秀樹	平成13年4月 H13. 3. 29 認可		〒376-0022 桐生市稲荷町4-12
樹徳幼稚園 園長：瀬谷 茂	昭和26年4月 S28. 6. 6 認可		〒376-0013 桐生市広沢町三丁目4475

6 学校・学科等の生徒数の状況

(平成26年5月1日現在) (単位：人)

学校名			入学定員	収容定員	在籍者数	備考
樹徳高等学校	普通科	男	280	920	748	
		女	180	580	416	
樹徳中学校			60	180	146	
樹徳幼稚園				120	68	

7 役員及び評議員の概要

(1) 役員

任期 平成26年6月1日～平成30年5月31日

役職名	氏名	寄付行為選任区分	備考
理事長	野口 秀樹	第5条第1項	常勤、中学・高等学校長
理事	岸 芳正	第5条第3項	非常勤
理事	野口 善教	第5条第2項	非常勤
理事	阿部 高久	第5条第3項	非常勤
理事	星野 榮助	第5条第2項	非常勤
監事	高村 利久		非常勤
監事	山口 正夫		非常勤

(2) 評議員

任期 平成26年6月1日～平成30年5月31日

氏名	寄付行為選任区分	職 業	備 考
野口 秀樹	第21条第1項	中学校・高等学校長	
瀬谷 茂	第21条第1項	幼稚園長	
田代 文衛	第21条第2項	事務長	
丸山 晴子	第21条第3項	同窓会長（女子部）	
福田 勝巳	第21条第4項	後援会長（保護者）	
野口 善教	第21条第5項	学識経験者	
阿部 高久	第21条第5項	学識経験者	
星野 榮助	第21条第5項	学識経験者	
野口 幹子	第21条第5項	学識経験者	
小倉 康宏	第21条第5項	学識経験者	
岸 芳正	第21条第6項	理事	

8 教職員の概要

（平成26年5月1日現在）（単位：人）

区分		高等学校	中学校	幼稚園	計
教育職員	本務	63(9)	26(8)	6(5)	95(22)
	兼務	23(10)	4(1)		27(11)
事務職員	本務	17(8)	1	2	20(8)
	兼務	7(5)	3(1)	1	11(6)
計		110(32)	34(10)	9(5)	153(47)

注 ()内は女子で内数

II 事業の概要（主要事項）

1 法人

(1) 理事会及び評議員会の開催状況

① 平成26年5月19日（理事5人中4人出席）

- ・ 第1号議案 役員改選
- ・ 第2号議案 平成25年度事業報告
- ・ 第3号議案 平成25年度収支決算

② 平成26年12月11日（理事5人中4人出席）

- ・ 第1号議案 樹徳高等学校学則の一部改正

③ 平成27年3月12日（理事5人中4人出席）

- ・ 第1号議案 平成27年度事業計画
- ・ 第2号議案 平成27年度収支予算
- ・ 第3号議案 樹徳高等学校奨学生に関する規定の一部改正

(2) 評議員会の開催状況

① 平成26年5月19日（理事10人中8人出席）

- ・ 第1号議案 役員改選
- ・ 第2号議案 平成25年度事業報告
- ・ 第3号議案 平成25年度収支決算

② 平成26年12月11日（理事11人中10人出席）

- ・ 第1号議案 樹徳高等学校学則の一部改正

③ 平成27年3月12日（理事11人中10人出席）

- ・ 第1号議案 平成27年度事業計画
- ・ 第2号議案 平成27年度収支予算
- ・ 第3号議案 樹徳高等学校奨学生に関する規定の一部改正

2 樹徳高等学校

(1) 平成26年度 教育・指導目標

教育方針の理解を徹底し、特に次の事項に重点をおいて指導を行った。

- ① 出席率の向上
- ② 挨拶の励行
- ③ 学力の向上
- ④ 各種検定合格率の向上
- ⑤ 運動部の強化

(2) 生徒の状況

平成26年度の入学生は、一貫校中等部からの内部入学を含め入学定員460人の92.2%の424人であるが、前年度372人に対して52人増加した。

平成26年5月1日現在の生徒数は1,189人であり収容定員1,500人に対し79.3%の充足率である。

平成26年度入学状況・生徒数

入学状況					生徒数 (H26.5.1 現在)			
	定員	志願者	入学者	一貫校 進級者	1 学年	2 学年	3 学年	計
					13 クラス	12 クラス	14 クラス	39 クラス
男	280	2,272	240	19	259	247	242	748
女	180	1,731	143	22	165	111	165	441
計	460	4,003	383	41	424	358	407	1,189

(3) 卒業者の進路状況

(平成26年度末 人)

		人 数	内 訳
進 学 者	大学学部	186	県内 44 県外 142 国公立 21 私立 165
	短期大学	18	県内 13 県外 5
	専修学校	103	
	各種学校	30	
	公共職業能力開発施設	4	
就 職	就 職 者	60	男子 35 人 女子 29 人
	各種学校進学者の内有職者	(4)	
そ の 他		2	
合 計		403	

(4) 学校創立100周年記念事業の実施

平成26年度は、学校創立100周年の記念すべき年に当たり、これからの100年を展望し、新生樹徳を創造と生徒たちの学園生活の充実に資するため、下記に掲げるとおり様々な事業を実施し、年度末には一部外構工事等を残し完成した。

- ① 現在の耐震基準に合致しない老朽化した校舎を取壊し、教室棟として「立志館」を建設した。
 - ・ 構造 鉄骨・PC造4階建て
 - ・ 建築面積 646.09㎡
 - ・ 延べ床面積 2,560.71㎡
 - ・ 普通教室10室、音楽室2室、美術室、調理師室、被服室、保健室、カウンセラー室等
- ② クラブ活動の充実強化を図るため新たに「明照体育館」を建設した。
 - ・ 構造 鉄骨・PC造地下1階3階建て
 - ・ 建築面積 1,625.83㎡
 - ・ 延べ床面積 3,942.86㎡
 - ・ 2階アリーナのほか1階に勢至ホール（講堂兼視聴覚室）、相撲場、多目的フロアー、3階にランニングトラック、トレーニングジム等
- ③ 既存の「力誉記念館」、「正道館」と新設の「立志館」及び「明照体育館」を効

率的に連結するため、「渡り廊下棟」を建設した。

- ・ 鉄骨・PC造2階建て
- ・ 建築面積 170.01㎡
- ・ 延べ床面積 259.90㎡
- ・ 2階渡り廊下のほかに1階に購買スペースを設置

④ 男子部(正道館)・女子部(記念館)の教室の集中確保と学生生活のより快適な環境づくりのため、一部特別教室とトイレの洋式化への改修工事を行った。

- ・ 力誉記念館 女子教室の増設(1F3室、3F4室)
- ・ 正道館 理科教室(1F2室)
- ・ 力誉記念館及び正道館のトイレ改修

⑤ 教育設備・備品の整備

- ・ 全生徒の机、椅子の入れ替えを行った。
- ・ 私立高等学校等IT教育設備整備費補助金を受け、設備機器の整備を行った。
第1コンピュータ教室のパソコン更新(50台)
プロジェクタ、電子黒板等の設備機器の整備
特別教室(理科室、家庭科室、音楽室、芸術室)の音響映像設備の整備
勢至ホールの視聴覚設備の整備等

⑥ 女子制服のリニューアル

現在着用しているセーラー服をリニューアルし、100周年記念ジャケットを着用、ソックスも白から紺に平成26年度入学生から変更した。

⑦ ミャンマーでの学校建設

慈悲の心の醸成を目標に月に1日、節制した生活を心がけ、募金した「マイトリ一基金」により、平成27年1月27日ミャンマー、ヤンゴン管区、東ダゴン地区のイエイエッター寺子屋に新校舎を建設、開校した。

⑧ 100周年記念誌編集

100周年記念誌作成委員会を設置し、「伝統を守り、大切にしてきたもの(=不易)」と、「時代の要請に合わせ、柔軟に取り入れてきたもの(=流行)」というメインテーマを設定、編集し刊行した。

⑨ 新生樹徳のロゴマークの制定

学校創立100周年を記念し、(株)ザ・デザイン・アソシエイツに依頼し新たな100年に向けて新しいロゴマークを制定した。

- ・ ロゴのニックネーム : JTK ツリー (希望広がる世界)
- ・ ロゴのマスコットキャラクター名称 : 「ピッパ」

⑩ 学園・学校応援歌作成

- ・ 同窓会事業として歌詞を校内募集し、元YMO細野晴臣氏に作曲を依頼し「学校応援歌」を作成した。
- ・ 100周年記念吹奏楽曲「あかしやの樹」が広瀬勇人氏作曲、木村吉宏指揮フィルハーモニック・ウィンズ大阪の演奏で作成された。

3 樹徳中学校

(1) 生徒の状況

平成26年度入学状況・生徒数

入学状況				生徒数 (H26.5.1 現在)				
定員		志願者	合格者	入学者	1 学年	2 学年	3 学年	計
60	男	36	27	25	25	18	22	65
	女	31	21	18	18	28	26	72
	計	67	48	43	43	46	48	137

(2) 教育設備・備品の整備

- ・ 私立高等学校等 IT 教育設備整備費補助金を受け、コンピュータ教室のパソコンを更新した。(39台)

4 樹徳幼稚園

(1) 園児の状況

平成26年度在園園児数 (H26.5.1 現在)

学年	組	新規入 園児数	在園園児数			桐生市	みどり市	太田市他
			男	女	計			
3歳未満				2	2	1		1
年少組	もも組	14	5	9	14	11	1	2
年中組	さくら組		17	6	23	15	4	4
年長組	たけ組		7	12	19	14	3	2
合計	4組		29	29	58	41	8	9

(2) 課外活動の状況

- ・ 預かり保育推進事業の実施
保育時間外や長期休業中に預かり保育を行った。
通常保育日数（開園日の2時間以上の保育）203日
長期休業日（1日4時間以上の保育）29日（夏季日、冬季日、春季日）

(3) 施設・設備の充実

- ・ 老朽化した大型遊具の補修及び新規複合遊具の導入・整備を行った。
既 設 雲梯・パーゴラ・吊り橋・のぼり棒の補修
新規導入 トドラーズチョイス、丸太ステップ、丸太平均台、スネークジャン
グル
- ・ 3教室にエアコンを新設（ばら組、すみれ組み、きく組）